

よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

月刊

同友

Monthly Communication Magazine DOYU

2015 November

11

Vol.592

03 【特集】 中小企業は経済を牽引する力であり社会の主役である
筑豊地区会の地域への取り組み ～筑豊地区会の歩み～

06 21世紀型 自立型企业づくり
実践、実践、また実践
～『人ありき』の経営～
株式会社 きねや

09 バリアフリー委員会9月勉強会報告

10 戦後70年を考える
「戦後復興期・平和への願いをこめて…」

12 11月行事案内

14 自社商品・サービス紹介

15 第5回 理事会報告

よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

よい経営者になろう

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収しこれからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

はみだし Report

21世紀型 自立型企业づくり

(本誌p.06掲載)



株式会社 きねや
代表取締役

明石 勝善 氏 (東支部)

東支部の熱男・明石勝善という男

明石さんは東支部きつての熱い男。ノーベル賞受賞者に負けにくい失敗のものともせず行動する熱血漢。ノーベル料理賞をあげたいくらいだ。親分肌で人情に厚い。頼まれたら断れない性質だ。(うどん屋なのに)そばによると暑い。

東支部では、副支部長として支部長より広い視野を持ち、面倒見がいい。支部独自の経営指針書の勉強会『経営研究会』を支えている。理念を語らせたら、熱い。人差し指を立てて「チツ、チツ、チツ、オレに触れたらヤケドするぜ」が決め台詞(?)。

望年会の余興で女装を頼まれれば「ハイ、喜んで」。化粧が妙に似合うのも特徴だ。その道に目覚めてしまうことだけは、きつく注意しておきたい。勉強熱心で学問に篤い……ということにしておこう。

会社に入社したころ、当時テレビで人気があった料理の鉄人・道場六三郎にあこがれた。カタチから入る明石さんは、料理を作る前に「お品書き」を書こうとした。しかし、それが思うように書けない。練習に練習を重ねた。雑誌で東京に凝ったメニューの店があると聞けば、飛んで行って確かめてみた。いつかマネは自分のものになり、オリジナルとなるのであった。今でもお店のメニューは明石さんが描いたイラストが添えてある。行ってみるといい(宣伝)。努力は実る。

会議の終了時には、全員でスローガン唱和がルーティンワーク。集中力を高めて現場に向かう明石さんであった。

記事：向井 徹 氏 (東支部長)

今月の表紙

撮影・文：間々田 正行
(メニテイス/福博支部)



今回、訪ねたのは炭坑のまち・田川。先ごろ、「明治日本の産業革命 九州・山口と関連地域」として大牟田市や北九州市の産業遺産がユネスコ世界文化遺産に登録されました。田川市では山本作兵衛さんの炭坑記録画・記録文書が日本で初めて世界記憶遺産に登録されており、大きな話題を呼びました。

その炭坑画を所蔵・公開しているのが田川市石炭・歴史博物館。敷地内には同市のシンボル・2本の大きな煙突と竪坑櫓が保存され、その下には炭坑住宅や採炭に使用された大型機械などが展示されています。

珍しいスポットでは、かつて百円坂と呼ばれていた坂があります。炭坑幹部の邸宅が建ち並んでいたところで、当時の幹部の月給100円(今の200万円に相当)からそう名付けられたとか。現在は新しい住宅が建ち、面影は残っていません。案内看板が立つような観光地でもありませんが、どこにあるか探し当てるのも面白いでしょう。

珍しいスポットでは、かつて百円坂と呼ばれていた坂があります。炭坑幹部の邸宅が建ち並んでいたところで、当時の幹部の月給100円(今の200万円に相当)からそう名付けられたとか。現在は新しい住宅が建ち、面影は残っていません。案内看板が立つような観光地でもありませんが、どこにあるか探し当てるのも面白いでしょう。



百円坂



山本作兵衛さんの炭坑記録画・記録文書



田川後藤寺駅



田川市石炭・歴史博物館



田川市石炭・歴史博物館

「私たちの逸品」2本の大煙突と竪坑櫓

田川市石炭・歴史博物館

<http://www.joho.tagawa.fukuoka.jp/sekitan/>

中小企業は経済を牽引する力であり社会の主役である

筑豊地区会の地域への取り組み （筑豊地区会の歩み）

筑豊支部設立

筑豊地域の同友会運動は、1994年に北九州西支部（当時）から分離独立して、筑豊支部が設立されたときから本格的に始まります。78名の会員でスタートしました。

その後、顔が見え、企業が見える関係にある地域で、結束が強いこともあり、退会がすくなく、着実な発展を続けます。

筑豊支部設立10周年に 筑豊地区会発足 記念講演会を開催

支部ができて10年目、福岡同友会では地区会発足の時でした。支部設立10周年の節目としての記念行事が企画されました。その大きなものとして、映画「スクール・ウォーズ」のモデルとなった、伏見工業高校ラグビー部元監督の山口良治先生を招いての講演会が開催

されました。この講演会には同友会会員や社員、家族に加えて、地域内の主な高校生も招待されました。

この講演会で異例のことが起こりました。最前列に座っていた、鞍手竜徳高校の生徒たちの講演を聴く態度がだめだと、壇上から講師が叱責したのです。講演会終了後、同友会の役員と高校の先生方との話で、先生方から「それでも今日は最後まで席に座っていました。よかったです」との言葉に、会員は愕然としました。次の時代この地域を担い、支えていくのはこの若者たちだ、この状況に何もしないでいいのか、と山口先生からも、「あんなたちが何とかしないといかんのではないか、何とかせえ！」と激励も受けました。

鞍手竜徳高校の 就職面接指導 進路セミナー開催

このことがきっかけになり、鞍



2015年筑豊地区新年祝賀会の様子

手竜徳高校の「3年生の模擬面接（7月）」や「2年生の進路セミナー（11月）」がスタートしました。当初は、面接態度がどうしようもない状態で、何度かもうやめようか、となった時期もありましたが、熱心な先生方や役員の努力で継続し、現在11年目を迎えました。

続けてきたことで大きな変化が生まれました。当然のことながら生徒は卒業していきますので毎年変わりますが、年を重ねるごとに、面接態度や自分の将来に対する考え方が目を見張るほどしっかりしてきたのです。就職希望の生徒が多い高校ですが、今では、就職するなら鞍手竜徳高校に、と地域の方々から言われるまでになっています。

嘉飯支部が設立され、地域行政とのかかわりが深くなる

地区会が発足した当初は筑豊支部のみで、1支部1地区でした。その後、2006年に嘉飯支部が設立されました。それまでも地域行政とのかかわりは強く、毎年の新年祝賀会や総会には、地域の主要自治体である飯塚市、直方市、田川市、嘉麻市、宮若市の市長や商工会議所、中央会などからも参加していました。嘉飯支部ができたこと

でそれぞれの対象地域がより明確になり、行政との関係もいつそう強くなりました。

中小企業憲章シンポジウムを開催し、条例制定へ

筑豊地域は旧産炭地から脱却し、新たなまちづくり、地域振興を模索する動きが強まっていました。そこで、2012年には中小企業憲章推進月間に呼応した形で筑豊地区で「中小企業憲章シンポジウム」を企画しました。この企画は、同友会をはじめ、地域内の行政や中小企業団体、金融機関などが共催する形で実現し、憲章を地域で具体化する形で中小企業振興基本条例をつくる必要性が広がりました。



2012年の中小企業憲章シンポジウムで
発言する中山英敬代表理事



2012年の中小企業憲章シンポジウムの様子

直方市での取り組み

直方市では、直鞍世界戦略会議という組織が立ち上がりました。同友会の役員も参加して、直鞍地域と世界をつなぐ戦略立案とあわせて「中小企業振興基本条例」づくりが進められ、2012年10月に条例制定となりました。さらに、策定後の動きを具体化するために、行政、他団体、同友会も一緒になって先進地域の大阪府八尾市などへの査察とともに、

作業部会やワーキングチームをつくって具体化が進められています。

飯塚市での取り組み

飯塚市では、市長との懇談などの機会を通じて、条例の必要性や制定の要望の声を上げてきました。当初はなかなか進まない状況もありましたが、今年になって、制定への姿勢が現れ始め、2015年8月に市長宛の、「要望書」を提出。その内容は、中小企業振興基本条例を制定して、条例に基づく施策を推進することで地域振興を図ることを要望し、筑豊地区地域政策部で練り上げた「飯塚市中小企業振興基本条例（案）」もあわせて提出しました。市からは、2015年度中に制定すると回答をいただいています。

田川地域での取り組み

田川地域には、筑豊支部、嘉飯支部にあわせて13名の会員がいます（2015年10月現在）。この地域は、筑豊地区の中でもより厳しい環境にあり、行政も会員も強い危機感を持っていました。田川市は、数年前から福岡同友会が毎年開催してきた、6月の中小企業憲章大学習会に、複数の職員を派遣し、独



2015年6月憲章月間勉強会の様子

自に検討を進めてきていました。
直方市で条例が制定された動き
にも触発され、急速に条例作りの

動きを具体化させ、同友会への協
力要請が寄せられました。田川出
身で在任の中山代表理事や田川の

会員、筑豊地区幹事会担当役員な
どが連携し、田川市の条例作りに
協力する体制を組みました。7月
から3回にわたって市が呼びかけ
た「中小企業振興に関する勉強会」
が開催され、地元の商工会議所、商
店街組合、青年会議所、JA、金融
機関、民商、同友会などが参加して
市が準備した条例案を検討、9月
議会で制定されました。この条例
の特徴は、同友会が提起してきた、
「条例・調査・振興会議」をセットで
取り組むことが明確に示されてい
るところにあります。

田川支部設立へ向けて

筑豊地区会は、2015年度の運
動方針の重点のひとつに、「田川支
部設立」を掲げ、スタートしました。
地区幹事会の中に田川支部設立準
備担当副幹事長をおき、具体的な動
きをはじめました。9月末までに
3回の準備会合を開催、まずは筑
豊、嘉飯両支部に在籍している会員
の交流を進めてきました。

これからの運動・活動

9月に条例が制定されたことを
うけて、11月20日には、京都大学の
岡田知広教授を招いて「中小企業振
興基本条例でまちはどう変わるの？

そしてあなたの会社は？」という
テーマでの例会を開催します。筑
豊支部、嘉飯支部の合同例会である
と同時に、準備会例会とも位置づけ
て行政、各団体、ゲストなど多く誘
い、170名を目標に準備が進めら
れています。例会に先立ち、条例の
講演会に参加してもらう前に、同
友会への理解を深めて会員になっ
てもらおうと、11月11日に田川地
域で「同友会を知る会」を開催する
予定も立てています。今後も、準備
会を重ねながら、2016年7月
19日には藻谷浩介さんの講演会を
予定し、準備会の盛り上げを企画し、
2017年5月に、30名以上の会員
で田川支部設立を目指しています。

筑豊地区会の未来

筑豊地区では、田川に支部がで
きることで地区全体の会員も増や
そうという雰囲気が出来ています。
県南地区センター開設に続けと「筑
豊地区センター（仮称）」を当面の目
標に、筑豊地域振興をリードする
中小企業家の熱い集団をもっと強
くし、広げていこうと考えています。
5市9町1村45万人、3900事
業所がここに住んでよかった、こ
の地域で働き続けたいという地域
を『産・学・官・金』一緒になってつ
くっていききたいと語りあっています。

実践、実践、また実践

『人ありき』の経営

同友会で人財育成の大切さに気づき、
学びを自社に落とし込み実践していく明石勝善さん。
経営理念に基づき、具体的に実践していくのでした。



株式会社 きねや

代表取締役

あかし かつよし
明石 勝善 氏

東支部

創業 1988年10月
住所 福岡市東区筥松3-9-42
電話 092-611-3597
〈原田店〉福岡市東区原田1-24-37 TEL:092-622-1098
〈流通店〉糟屋郡粕屋町内橋566-6 TEL:092-938-3124
従業員 社員8名 パート50名
飲食業。不動産レンタル。



両親の背中を見て

創業者である父親の明石照善^{てるよし}さんは、昭和の高度成長期後半、脱サラして『アンシャント』の屋号で福岡市箱崎の地でスタートしました。キーキやパンの小売をしていました。当時としてはかなりオシャレな店構えで、人気を得ました。少年時代の明石さんは両親の働く姿を見て育ち、クリスマスケーキの手伝い等をしました。

父親の照善さんは早くから同友会（東支部）に入会し、志賀島セミナー（現在の経営指針作成セミナーの前身）で経営を学びました。〈俵〉うちだ屋の内田勝行さんから「これからの飲食店はうどんがいいよ」とアドバイスをもらったのでした。昭和63年、糟屋郡粕屋町内橋に

取材 広報部
文章 菅原 弘（東支部）
写真 広報部



きねや 原田店 外観

『きねや流通店』をオープンさせた。『うどんと焼肉の店』をコンセプトにして、出店し、同時に法人化した。この店が本店機能を備えています。

うどんは好調でしたが、狂牛病が流行り(平成12年頃)、牛肉を扱う食品・飲食店は大きな打撃を受け、深刻な社会問題になりました。きねやもその例外ではなく、形態を『うどん定食と居酒屋の店』にシフトさせました。竹乃屋の竹野孔さん(東支部)をよく見ていました。

家業を手伝い、そして入社

大学時代は家業を手伝うかたわら、いろいろな飲食店でアルバイトし、飲食業の仕組みを肌で覚えました。その当時は、家業を継ぐことは考えていませんでした。

「オレの仕事は世界に羽ばたくビジネスマン、オレの商談の場はニューヨーク!」と考えていたのです。しかし、お客様から直接「おいしかったよ」「また来るかい」と言われると喜びを覚えるのでした。

「結局、オヤジの敷いたレールの上を走っていたんですね。」

父親からの「ウチの定食に生ものがないよね」という言葉をヒントに明石さんは、すし屋の門を叩くのでした。大将(すし屋の主人)に熱く思いの丈を告げ、修行を許してもらいました。

きねやでは8時から15時まで働き、すし屋に移動して夜中の1時過ぎまで仕事をしました。

「初めは出前からです。その内、握り方を盗んでいきました。よくも悪くも職人の『頑固さ』を学びました。」そして、大学を卒業した翌日、(株)きねやに入社しました。時を同じくして『きねや原田店』を開店させているのも、父親の思いが垣間見られます。

失敗しつつも売上伸ばす

店では自分がマスターしたと思っていたすしを握ってみました。ところが、カタチが悪いわ、崩れるわでお客様に叱られてしまいました。ひたすら謝る一方でこんなにやくを使つて刺身を引いてみたり、シャリを握る練習をしたりしていきました。やがて店の定食の柱となる献立になっていきました。

父親の薦めで同友会にも顔を出すようになります。明石さんいわく「見よう見まねのランチエスター戦略を実践してみました。一気にチラシを蒔くことがランチエスターだと思ったんですね。その結果、店にお客様があふれ、料理が出るまで1時間以上かかるなど、クレームの山となっていました。前出の竹野さんに改めて地域戦略の教えを請いに行きました。「あの時は3ヶ月で8キロ痩せました」と苦笑いします。

試行錯誤を続けながらも、売上は伸び、地域ナンバーワン店になって行きました。4店目の「木四季」を原田店に隣接させて出店しました。売上好調の明石さんは完全にテングになっていくのでした。

「もう独裁者状態ですよ。職人の頑固さがいいと錯覚していました。」人を人とも思わず、従業員に対

して「オレの言うとおりにやってりゃいいんだ」と怒鳴り散らしていました。

大きな衝撃を受ける

同友会の例会に参加したときのことです。報告者の金川俊一さん(株)ビッグロード)が社員さんのことで涙を流しながら話していました。それを聞いている社員さんも感動して涙していました。その光景を見て明石さんは大きな衝撃を受けました。

「オレは何をしていたんだ。人を人とも思わず、怒鳴っていた。オレのために泣いてくれる社員がいるだろうか。」

一人会場を抜け出して泣いたといいます。

その日から心を入れ替え、従業員に対する態度や言葉遣いを改めました。

「一朝一夕には行きませんが、少しずつ軌道修正していきました。」今でもことあるごとに金川さんにアドバイスを求めています。「まづ人ありき、従業員を大切にすると考えを改めました。」

人ありきの経営

父親は毎日のように、現場に現



きねや 原田店 店内の様子



れます。「オヤジが何時に来て、何を言うかがわかるようになってきました」。

「オマエ、そろそろ代わらんや?」そう言われて、平成23年に社長を継承しました。

「継承は受ける側の受け止め方が一番大事だと思います」と語ります。

飲食業界は商品力が大事だといわれますが、所詮マネだとしてお客様に飽きられます。差別化は『人』でないといけません。そして会社

は人財育成の場と位置づけました。以前作成した経営指針書を、検証するため再度2泊3日のセミナーに参加しました。

同社の経営理念は

「感謝 誠意 実行 継続」方針は

お客様第一義

スローガンは

実践、実践、また実践

挑戦、挑戦、また挑戦

修練、修練、また修練

やってやれないことはない

オレがやらねば誰がやる

これは会議の最後に全員で唱和しています。

社員共育はOJTが中心となります。

「ウチのような規模なら私自身が現場に入っても経営できます。利益の根源は現場です。その場で教えたいのです」。

社長塾と称して隔週に幹部を集め、社長の思いを伝えていきます。

さらに『社長の頭の中』という題名でラインを利用して従業員と『価値観の共有』をするため、社長の気づきを情報発信しています。その

内容は商品関連にとどまらず、「お茶」や「お箸」などにもいたりします。

ブランディング戦略

こうした人財育成を土台にブランディング戦略を考えています。お客様のニーズを探りながらも自社のこだわりを持っています。明石さんは「うどんは小麦粉の味がしなければならぬ」という信念を持っています。

この度福岡県産小麦粉100%使用の自社ブランド『もちもちひっぱり麺』を開発しました。製麺所と相談してオリジナルで取り組みました。従来のオーストラリア産よりきめが細かいため、水の分量が難しいのです。さらに、もちもちしているため、運ぶ際に麺がくっついてしまうという課題が出てきました。試行錯誤の末、ようやく完成しました。大手チェーン店が冷凍麺を使い始め、一時は悩んだといいますが、「うどんは生きている」という信念を貫いています。

「価格競争に巻き込まれてはいけません。ウチの客単価は少々高いかもしれませんが、その分、原料にコストを掛けています。和食・中華・洋食にファミレス、外食にはいろいろありますが、地域の台所として共存すればいいと思っています。今はウチが追求すべきところを、一生懸命やるだけです」と熱く語っていただきました。



「もちもちひっぱり麺」のざるうどん

元気で笑顔

取材の最後に明石さんが考える『自立型企業』についてお伺いしました。

「元気で笑顔の会社ですかね。やるべきことを一生懸命やって、また利益も出していく。社員には仕事を通して立派な社会人になってもらいたいですね。」

常々、会社を見ろ、オレを見ろと言っています。ダメと思ったら辞めてもいい。いいと思ったらここで働いてくれ。みんなが成長できる環境を作るようオレも努力する。そういうことができれば元気で笑顔の会社になるのではないでしょうかと締めていただきました。取材協力ありがとうございました。

バリアフリー委員会9月勉強会報告

感動が幸せな職場をつくる

報告者 末石 藏八氏 株式会社キシヤ 代表取締役会長（南支部）



<末石 藏八氏 プロフィール>

1947年(昭和22年)	佐賀県唐津市生まれ
1968年(昭和43年)	株式会社キシヤ入社
1999年(平成11年)	株式会社キシヤ 代表取締役社長就任
2010年(平成22年10月)	株式会社キシヤ 代表取締役会長就任

9月25日、中小企業振興センターで今年度第1回バリアフリー勉強会を開催しました。

今回の報告は(株)キシヤ会長末石藏八氏。末石会長は社員数名の(株)キシヤに入社後、現在の六百億円企業に発展させられた方です。

障害者雇用についての勉強会で報告されるに当たり、担当の伊藤課長と打ち合わせされました。その際、伊藤課長の報告に思わず涙

される場面があり、伊藤課長に「君自身の言葉で報告してくれ」と依頼し、急遽、前半30分は伊藤課長が報告される事になりました。

漢字が読めない障害者も数字なら全員判ると知って、一万五千アイテムもある商品を数字で表示するようにした結果、全員ピッキングができるようになり、伊藤課長曰く「1〜2時間なら私の方が上手かも知れませんが、勤務時間いっぱい同

じ速さ、正確さでやり続けることは彼らにはありません。完敗です」と。

また、障害者の唯一の家族である父親が急死した連絡を受けた時の対応に触れ、「病院も行政も真剣に対応してくれました。特に葬儀社は問題が全て解決してお葬式が出せるようになるまで三ヶ月間、ご遺体を無料で冷凍保存してくれました」とのこと。そんな出来事も、1日数時間自社で働く障害者の人生に真剣に関わっている(株)キシヤの姿勢が伝わったからではないかと感じました。

所用で退場された伊藤課長に続いて登壇された末石会長は開口一番、「いろいろ言っても言葉ではなかなか伝わりません。ぜひ彼らが働いている現場を見に来てください。彼らが一緒に働いてくれることで、会社の空気がきれいになります。社員には彼らに効率は求めませんが、我々が社にしっかり貢献してくれています」と断言されました。

終了後、末石会長の提案に会社見学を希望する感想文が多数寄せられました。

バリアフリー委員会では、年内に(株)キシヤ見学会を企画中です。ご案内の際は、ぜひご参加ください。お待ちしております。

(バリアフリー委員長 牧本 貴宏)

書籍販売のご案内

「人を生かす経営 ～中小企業における労使関係の見解」

本書から学ぶべきことは、経営者の経営姿勢の確立こそ社員との信頼関係を築く出発点、経営指針の成文化とその全社実践の重要性、社員をもっとも信頼できるパートナーと考え、高い次元の経営をめざし共に育ちあう教育(共育)的人間関係をうちたてること(「まえがき」より)。

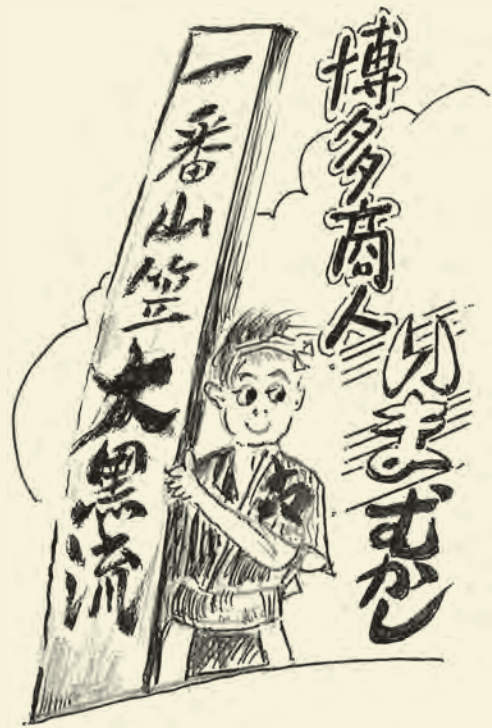


企画・発行：中小企業家同友会全国協議会

頒価：300円

お問合せ：福岡同友会 事務局 TEL：092-686-1234

戦後復興期・平和への願いをこめて…



MORO企画・代表

諸岡 昭三郎
(ひびき支部)

戦時中の博多

私は、八人兄弟の六番目で、姉が三人、兄が二人いて、妹、弟と仲良く暮らしていました。あの悲惨な太平洋戦争時代は、長兄が電気技師で陸軍通信兵として出征、次兄が高専在学中で九州飛行機工場に学徒動員、私は旧制中で陸軍造兵廠(春日原―日田光岡)に学徒動員、弟はまだ小学生でした。女性たちは、日本発送電(九州電力の前身)や電電公社など、銃後の守りをかためて父母と暮らしていました。私たちは、博多の古門戸町で、祖父の時代まで博多商人の「総合雑貨商」を営んでいましたが、父は、

戦前の福岡日日新聞社(現・西日本新聞社)に勤めていました。

私たち兄弟は、七人が奈良屋小学校卒です。さきの「博多の大空襲」でそれぞれの友人たちの「死の恐怖」の話を聞き、驚がくしました。

戦時中、アメリカのB29戦略爆撃機が、博多の街を焼夷弾で無差別に焼きつくし、水を求める市民の死体が那珂川の周辺、海岸線に積み上げられるのを眼の前にした時、啞然となったことを想い出しています。

うけつがれる博多の伝統

奈良屋小学校は、学校創立(一八九八年・明治三十一年)から、「百年

の区切り」をつけて廃校になりました。極端なドーナツ化現象によって、入学児童が少なくなったためでした。一九九七年、児童がついに十人を切ったということを聞き、やはり断腸の思いでした。

かつて博多の街の商人たちのセンターの役割を演じてきた博多区の奈良屋、御供所、冷泉、大浜の四つの小学校が統合して、一九九八年四月から「博多小学校」(児童数四七五人)の開校が決定されました。奈良屋小学校だけが継承してきた「子ども山笠」が共有されることになり、友人たちは、「ここで育つ子どもたちは幸せ。生まれた時から「博多山笠」が風景に溶け込んでいる。大きな宝ものが町内にあるし、博多人形や、文化の歴史を肌でしっかり感じとる。やっぱり伝統は引き継いで欲しい」と喜んでいました。

※「博多小学校」の行進曲風の「校歌」は、同友会の上田啓蔵さん(西門蒲鉾本店・玄海支部)の弟・チューリップの上田雅利さんの曲

博多の男は「のぼせもん」

福岡では、毎年五月三日から四日に「博多どんたく」、七月一日の汐取りに始まり、十五日の「博多山笠」の追い山につづくまで、博多の町の男たちは「のぼせもん」に変身します。

戦後七十年がたち、一年ごとに、この「どんたく」と「山笠」は、大企業と行政のプロパガンダに利用され続けているようでした。

さらびやかな華麗だけが目立つカーニバル調が目立され、本来の趣旨が生かされていません。

私たちの子供時代からすれば、「博多生まれの博多育ちの伝統と歴史」が、時代と共にうすれていくのを残念に思っています。

やはり、さきの第二次世界大戦なるものの後遺症が大きいでしょう。

戦前の大政翼賛会や、産業報国会とまではいたくありませんが、苦しみ抜いてきた町民衆のくらしと商い、町民の武家政治に対する鬱憤や風刺などが、いたるところ



に織りなされた伝統と歴史を守ってきた「勢い水」のかけあいや、台上りの元気なかけ声に、その根幹の思いにあると、先輩たちは強調していました。

「のぼせもん」とは、趣味や遊びなど、それ一途に夢中になることをいいますが、いわゆるお祭り好きの若い衆が、「宵越しの金は持たない」という江戸っ子の下町に住む人々と似通ったところがあるようです。

「博多どんたく」と「博多山笠」が、年間スケジュールの生活や商いの中心にあつて、この期間は、とくに博多商人の男たちは「ごりよんさん」（＝奥さん）まかせにして、ひたすら「祭り」に惚（ほ）けているようです。

オッペケペー節

「博多座」（土居町）の対角線上にある川端商店街の一角に、博多の古門戸出身の「川上音次郎」の銅像があります。

その「音次郎」は、一八六四年（文久四年）生まれで、家運の没落で十四歳で上京し、寺の小僧や、福沢諭吉の学僕（師の家や塾の下男となって、そのかたわら学問をする人）、新聞記者、巡査など、いろいろな職業を転々としつつも、その間、「自由民権」を主張して投獄されること数十回。そこで上方落語を学び、時事風刺は天下一品。例の「オッペケペー節」を考え出し、歌い続けて、時の政府を皮肉っていました。

「ままになるなら自由の水で、国の汚れを洗いたい。
オッペケペッポー、ペッポーポー」
「権利・幸福きらいな人に、自由のお湯を飲みたい。
オッペケペッポー、ペッポーポー」

音次郎と相思相愛だった日本で初の女優「貞奴」は当時のアメリカ、ヨーロッパを巡業し、新派の創始者となりましたが、四十八歳で没し、博多で有名な「承天寺」に墓があり、その碑は、古門戸町にありました。

博多商人の気質

昔から、地場出身の大きい企業は育たないとよくいわれているようで、その反面、現在では、東京や大阪あたりからの支店が集中し、「支店経済」はうまくいっているようです。

博多で育った人たちに共通しているのは、情けにもろく、顧客や取引先を大事にはするが身内には渋くて、金もうけは下手というところ。す。いわゆる利幅は縮めても、他人に盡くし、身の丈にあった商売をするので、他人に多くの迷惑をかける「倒産」は少なく「廃業」が多い。あきらめが早いともいわれ、別の業種で商売を始めることが多いので、最近では、店の移り変わりも早い。今の時代の反映でもあるのでしょう。

その例として、私の旧友たちが「博多の老舗」の二代目、三代目を十数人継いでいたのが今、二人になっしまいました。

そのような事柄を、よくご存知の地場の取引銀行の「博多商人」に對する見方は、北九州あたりと違って、面倒見がよく、非常に寛大なのです。銀行にもきれいに清算して廃業するからです。

要するに、「博多っ子」の気風は、
「単純明快」隠し事が嫌いです。
明・暗、白・黒をはっきり意思表示

示するので、まだ仕事が続けけるのに、なぜ、看板を下ろすのかという疑問が多いのです。やはり、生涯、博多の「のぼせもん」で終わりたいからということでしょうか。

商売繁盛は

ごりよんさんの力量

古くからの開放的な排他性の少ない土地柄が幸いしたのか、どケチ根性と通称いわれる関西出身のダイエーが博多を「拠点」にして、商売を大きく拡大し、かつて、プロ野球で、パ・リーグ優勝を果たしたダイエー・ホークスに、わがことのように熱狂するのも、その反映の一面でしょう。

博多商人のお嫁にきた人たちは、旦那が商売をほったらかして、遊び惚けるので、主人に離婚しようと告げると、その主人の母親、いわゆる姑から、こっぴどく叱られます。「あんた、博多の商人は、昔から、ごりよんさんが取り仕切ることなつとうと。三六五日のうち、旦那衆は、三分の一は、祭りとごにで出るけん、しょうがないと。そげんお金が欲しかなら、佐賀県の人のところに行かんネ。葉陰（かげ）じゃけん。草木も生えんごと、節約しながら貯めとんなる」と、「博多仁（に）〇加（か）」みたいななおとぼけをいうのが習性です。

19 木 18:30~21:00 中央支部 11月例会

経営指針に基づく全社一丸の企業づくり ～一人ひとりと向き合い築いた相互信頼～

■ 天神ビル 福岡市中央区天神2-12-1 11F ☎0120-323-920
■ 中山 英敬 氏 株式会社ヒューマンライフ 代表取締役 (南支部)

どんな環境変化にも適応できるよう、自己変革をし続ける社風と強靱な経営体質をつくるのが企業存続の大きな鍵です。中小企業にとっては「人材力」が企業力です。経営指針に基づいた戦略的な人材確保、教育の取組み、多様な人材を活かす仕組みづくりが中小企業にとって重要になることは間違いありません。

19 木 18:30~21:00 西支部 11月例会

中小企業の人材確保 ～同友会の共同求人募集の活用～

■ 福岡ビル 福岡市中央区天神1-11-17 ☎092-716-8021
■ 三浦 義孝 氏 三浦造園土木建設株式会社 代表取締役 (西支部)
■ 時枝 憲司 氏 株式会社コムプラエージェンツ 代表取締役 (西支部)
■ 花田 理恵 氏 株式会社サワダ 代表取締役 (西支部)

人材確保・求人は、今や中小企業の最大の課題と言っても過言ではありません。経営者自らアクションを起こして新卒採用をしていく同友会の共同求人活動に参加された3名に、共同求人への意義や現実の課題、企業に何かが必要かを伺います。

19 木 18:20~21:00 筑紫支部 11月例会

思いつきで始めた事業が14年目を迎えられているワケ

■ 筑紫野市生涯学習センター 筑紫野市二日市南1-9-3 ☎092-918-3535
■ 三宅 静恵 氏 合同会社三宅牧場まきば 代表社員 (筑紫支部)

カンだけで動いていた頃と、経営指針を作り、「戦略」を意識した現在の違い。

19 木 18:30~21:00 福友支部 11月例会

理念浸透を追求する

■ TKPガーデンシティ天神 福岡市中央区天神2-14-8
福岡天神センタービル8F ☎092-720-8003
■ 松原 照明 氏 シーエススチール株式会社 代表取締役 (かすや支部)
松原氏は16年という月日をかけ、理念浸透を図り、業績を伸ばし利益を大幅に向上されました。経営理念、経営指針書を作成するも中々浸透せず、何度も壁にぶつかり、葛藤や悩みをもちながらも理念を追求され、独自で浸透させる法則を見つけられます。

19 木 18:30~21:00 りょうちく支部 11月例会

企業の活性化に向けた5S活動

■ 原鶴温泉 泰泉閣 朝倉市杷木志波20 ☎0946-62-1140
■ 内野 克彦 氏 中山化成有限会社 (りょうちく支部)

20 金 18:00~21:00 筑豊地区(筑豊支部・嘉飯支部) 田川支部設立準備会例会 (11月筑豊地区合同例会)

「中小企業振興基本条例でまちはどう変わるの?そしてあなたの会社は?」 ～中小企業がまちを変える、条例を活かした街づくりの方法～

■ 福岡県立大学 大講義室 田川市伊田4395 ☎0947-42-2118
■ 岡田 知弘 氏 京都大学大学院経済学研究科 教授

条例を具体化する地域の主体者である中小企業家が「リーダーシップ」を取り、様々な組織や機関が連携し、街づくりに関わっていくために、中小企業振興基本条例とは何か?どういったビジョンを持てばいいのか?中小企業振興基本条例をどう生かすのかなどを、既に制定された自治体の事例などを交えながら講演して頂きます。田川市産業振興会議予定メンバー、各市の条例作業部会や筑豊地域の各行政機関、金融機関、研究者や教育関係者、農業関係者、中小企業支援の各団体など幅広く参加を呼びかけます。

20 金 18:30~21:00 久留米支部 11月例会

職場のメンタルヘルスを考える

■ 内村 直尚 氏 久留米大学 教授

24 火 18:30~21:00 南支部 11月例会

時代に合わせて事業を最適化させる取り組み ～既存事業でも、新規事業でもない、第三の事業革新!～

■ 天神ビル 11階会議室 福岡市中央区天神2-12-1 ☎0120-323-920
■ 樫山 英宗 氏 有限会社Makefast143 取締役 (南支部)

金融業界では一足先(1996年)に金融ビッグバン(大規模な金融制度改革)が行われ、今迄と同じ経営では10年後の未来が描けなくなりました。当時21歳だった報告者が40年先を考えて、既存事業でも、新規事業でもない、第三の事業革新に挑戦し、成功と失敗を続けながらも変化させ続けている経営体験を報告してもらいます。

24 火 18:30~21:00 ※定例の月曜開催ではありませんのでご注意ください

経営労働委員会 労務管理部 人事・労務の基礎知識セミナー

賃金規則の作成

※天神パークビルではありませんのでご注意ください

■ GGソーラービル 福岡市中央区天神3-4-9 ☎092-714-0451
■ 桐生 敏成 氏 桐生社会保険労務士事務所 代表者 (玄海支部)

人を生かす経営において、社員が意欲を持って仕事に臨み能力を発揮できる仕組みを作ること、また、労働条件の最低基準を少なくとも守ることは大切です。今年度は就業規則の雛型(こちらで準備します)を利用し、就業規則の作成を皆様と一緒に進めます。また就業規則が古くなっている会社も、新しく変更する条文をお教えいたしますので是非ご参加ください。

24 火 15:00~18:00

中小企業憲章推進本部 情勢勉強会

「会社の未来を考える」情勢勉強会

■ 同友会全体会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15 11F ☎092-686-1234
■ 松井 清充 氏 中小企業家同友会全国協議会 専務幹事

世界・日本の中小企業をめぐる情勢についてお話しします。BCPやマイナパンパー制度の導入、身近な会員企業の実践事例を交え、分かりやすくお話しします。現代ほど、はげしく移り変わる情勢の変化に対応できる能力(判断と実行力)を要求される時代はありません。今日の課題について学び、企業経営の方針づくり、同友会の方針づくりにつなげる勉強会です。

24 火 18:30~21:00

企業連携推進委員会 FAST11月例会

『中小企業の経営課題を解決支援する(公財)福岡県中小企業振興センター 福岡県よろず支援拠点』

■ 福岡県中小企業振興センター 302会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15 ☎092-622-0011
■ 蛭川 雅己 氏 公益財団法人福岡県中小企業振興センター 事務局長
■ 佐野賢一郎 氏 福岡県よろず支援拠点 コーディネーター

今回は、昨年スタートした「福岡県よろず支援拠点」の活動・支援内容等をお話しして頂きます。販路開拓、商品開発、経営革新、資金繰り、マッチング、連携等、中小企業の課題は多岐に渡っています。あなたの企業の経営課題解決のために、ご活用してみてもいかがでしょうか。

26 木 18:00~21:00

第124回 新会員 フォローアップセミナー

■ コムシティ 北九州市八幡西区黒崎3-15-3 ☎093-641-9360

28 土 17:50~

玄海支部 11月例会

「現状維持は後退と同じ、当たり前からの脱却」～至高の料理対決～

■ 中村調理製菓専門学校 福岡市中央区平尾2-1-21 ☎092-523-0411

30 月 19:00~21:30

国際交流委員会 留学生と企業の交流サロン

ここがちがうよ! 私の母国と日本!

■ NBS株式会社 4階会議室 福岡市博多区奈良屋町5-10 ☎092-263-8833

この交流サロンでは、普段着で外国人留学生と接して頂き、「生の外国人留学生」と語り合い、企業人と留学生の相互理解を深める交流を目的としています(就職・採用前提ではありません)。「留学生の採用に関心があるが、どんな人たちが知らないの?採用を躊躇している」という企業はもちろんのこと、気軽な気持ちで大丈夫です!

30 月

女性部委員会 11月見学例会

■ 吉開 ひとみ 氏 宮田織物株式会社 代表取締役 (福友支部)

北九州地区 福岡ひびき信用金庫支店長との懇談会

11月13日(金) 18:00~22:00

ひびき信用金庫 本店会議室 (北九州市八幡東区尾倉2-8-1 ☎093-661-2411)

11月19日(木) 18:00~22:00

ひびき信用金庫 小倉支店会議室 (北九州市小倉北区米町1-1-1 ☎093-531-4586)

福岡ひびき信用金庫さんと会員の皆さんがお互いをよく知り、本音で語り合える関係を築くための第一歩として、合同での懇談会を企画しました。会場を変えながら、3回開催します(第1回目は10/27に終了しました。内容は同じです。会場及びその周辺の支店長さんが参加予定です)。支店長クラスの方々と知り合う、よい機会です。普段なかなか聞けない事・話せない悩みを、この機会に是非お話ししてみませんか? ※ 懇談会と懇親会がセットとなっております。参加費5,000円(懇親会費)

11月行事案内

お知り合いの方を誘って、是非ご参加ください。

お申し込み、お問い合わせは、e.doyu
もしくは、同友会事務局までお願いします。

7日 13:00~8日 12:00

広報情報化推進本部
広報・情報化交流会

中小企業が取り組むエネルギーシフト

■ 泰泉閣 朝倉市杷木志波20 ☎0946-62-1140

「エネルギーシフトが新しい経済社会をつくる」(1日目)

報告者: 平田 美穂氏 中小企業家同友会全国協議会 事務局長

「エネルギーシフト見学勉強会」(2日目)

報告者: 田村 治夫氏 東邦エネルギー株式会社 代表取締役

7日 14:00~17:00

同友すばる委員会
事業承継塾第4講

先代への要望

■ 天神ビル 11F 9号会議室 福岡市中央区天神2-12-1 ☎0120-323-920

■ 長 真志氏 ケア・ルートサービス株式会社 取締役(西支部)

■ 永松 拓陸氏 株式会社香椎造園 取締役(青年支部)

■ 大丸 拓郎氏 株式会社大丸製作所 常務取締役(青年支部)

経営者にとって「事業承継」をスムーズに行うことは最大の課題であり、義務です。後継者教育? 親族・社内承継? 株式承継? など、事業承継に関するさまざまな課題を勉強します。

8日 8:45~18:00

ひびき支部
11月例会

良い経営者になる為には? ~経営指針実践企業の見学~

■ 若竹屋酒造 他 久留米市田主丸町田主丸706

■ 林田 浩暢氏 合資会社若竹屋酒造場 社長(りょうちく支部)

10日 17:30~20:30

共育委員会
第1期リーダー共育研修
第3講(公開講座)

人間らしく生きるとは? ~地域の未来は我々が担っている~

■ 福岡県中小企業振興センター 401

福岡市博多区吉塚本町9-15 ☎092-622-0011

■ 堂上 勝己氏 梅南鋼材株式会社 代表取締役 大阪同友会代表理事
大阪同友会の「しんごい学校」に対する取り組みや中小企業経営者が「教壇に立ち、生徒に対して「生きること・働くこと」を訴えたかったことを見た、自社の社員教育の意義。地域の未来を考える機会と致します。

10日 16:00~18:00

ソーシャルビジネス委員会
11月勉強会

福岡 DIYリノベWEEKチーム ソーシャルビジネス宣言!

■ リノベーションミュージアム冷泉荘 福岡市博多区上川端町9-35 ☎092-985-4562

老朽物件の空間を自らカスタマイズする「DIYリノベ」。その楽しさを、福岡のみならず世界中の人たちが、広く体験できる1週間がFUKUOKA DIYリノベWEEK2015です。その中で「社会問題解決型ビジネス」の視点から参加者の皆さまと切り込みます。

11日 18:30~21:00

有明支部
11月例会

今後、わが国の中小企業が生き残れる道とは?

■ ブラウンシュガー 柳川市三橋町下百町6-9 ☎0944-75-6157

■ 石橋 一海氏 エヌビーエス株式会社 代表取締役(福博支部)

少子高齢化という現実を考えると、現在は労働力不足という過去になかった状況に直面しています。そこで企業は海外進出を目指して生き残るか? もしくは海外の労働力を確保して製造販売を続けるのか? という選択を迫られます。

17日 18:30~21:00

博多支部
11月例会

躍進する会社へ レッツ トライ! 会社の未来 子供らのために
~経営者フォーラムでの報告を振り返り、これからやれることを考えよう~

■ 天神ビル 11階会議室 福岡市中央区天神2-12-1 ☎0120-323-920

■ 井上 真一氏 株式会社大匠建設 代表取締役(博多支部)

現在、井上さんが自社において試行錯誤の中で行っている、人や地球にやさしい経営が、未来のためにどのように関係していくのか、また、今やれることは何かあるのかを井上さんの経営体験をもとに学びます。

17日 18:30~21:00

かすや支部
11月例会

ミシンで紡ぐ人と町 ~地域の活性なくして企業の繁栄なし~

■ 粕屋町商工会 糟屋郡粕屋町若宮2-3-1 ☎092-938-2456

■ 堤 久美子氏 つつみミシン 代表者(かすや支部)

つつみミシンの創業から今も変わらない「町」なくてはならない店づくりの考えをお話いただき、今回の例会が「同友会(かすや支部)」という一つの組織として行政ともしっかりと関わりが持てるきっかけとなればと考えます。

17日 18:30~21:00

糸島支部
11月例会

未来を見据えた社内改革 ~同友会との出会いと変化~

■ 糸島市商工会館 大会議室 糸島市前原北1-1-1 ☎092-322-3535

■ 大丸 拓郎氏 株式会社大丸製作所 常務取締役(青年支部)

昭和7年開業の歴史ある会社に7年前に後継者として入社。しかし先輩のベテラン社員さんとうまいかず、経営者としての自信もなく、何をすればいいのかわからずと頭をかかえる毎日でした。同友会との出会いから未来に夢をもち、現在進行形で社長、社員を巻き込み社内改革に取り組んである大丸さんの体験報告です。

17日 18:30~21:00

北九州支部
11月例会

(仮)「人間力」が事業を創り、事業を存続させる!!

■ KMM 北九州小倉北区浅野2-14-1 ☎093-511-4101

■ 迫 慎二氏 株式会社ネスト 代表取締役(広島同友会)

他社との差別化を図る為に、迫社長は「人間力」を重視しています。社内では「3年で育てるプログラム」があり、このプログラムにより責任のある立場でクリエイティブな仕事ができるようになるそうです。人間力を向上させることで物流のノウハウを活かしながら、事業展開しているのは、まさに人を生かす経営に繋がっているのではないのでしょうか!?

17日 18:00~20:00

大牟田支部
11月例会

ビジョン経営から理念経営へ

■ ホテルニューガイア オームタガーデン 大牟田市旭町3-3-3 ☎0944-51-1111

■ 吉浦 茂弘氏 株式会社ティーディーエス 代表取締役(東支部)

経営をしていく上で、なぜ、経営理念やビジョンが重要なのか。報告者自らが体験し、感じたことを報告して頂きます。

18日 18:00~21:00

東支部
11月例会

社員と共に伸びる職場づくり ~社員共育は経営者教育~

■ ウィズ・ザ・スタイル福岡 福岡市博多区博多駅南1-9-18 ☎092-433-3900

■ 金川 俊一氏 株式会社ビッグロード 代表取締役(東支部)

自らはパーマ屋のオヤジと言いつつ、今もって経営も人付き合いも「ヘタ」であると豪語する。あの経営者が、自らの学びをいかにして社員にまで落としこんで実践しているのか!? を赤裸々に報告していただきます。

18日 19:00~21:00

青年支部
11月例会

立開工務店 新入社員を雇う。~それぞれの新入社員教育と職場環境作り~

■ IP CITYホテル 福岡市博多区中洲5-2-18 ☎092-262-2009

■ 立開 克利氏 有限会社立開工務店 専務取締役(青年支部)

■ 明永 稔氏 有限会社明永産業 取締役(青年支部)

■ 武井 正貴氏 株式会社エコファイブ 常務取締役(青年支部)

立開さんの会社は創業以来家族経営で今まで社員を雇っていませんでした。しかし、近年の環境の変化に伴い、家族経営だけでは限界を感じているため、社員を雇おうと考えています。今まで他人を雇っていない会社で新たな人材をどのように教育し、戦力として育てられるか、手探り状態です。社員を雇うにはどのような問題があり、職場環境をどのように作ればよいのか考えます。

19日 18:00~20:30

福岡支部
11月例会

経営指針書で会社は変わる!

~あなたの事業に対する根っこは何ですか?~

■ IPホテル福岡 福岡市博多区中洲5-2-18 ☎092-262-2009

■ 山内 修氏 山内経営コンサルティング事務所 代表者(福岡支部)

自社商品・サービス紹介 株式会社 アクアクイーン

ナノ水素水 a-class アクラス 紹介

九州は福岡の古処山・屏山・馬見山(嘉麻のアルプス)のミネラルたっぷりのおいしい天然水に、酸化還元位-650mv〜800mv以上、溶存水素2.0ppm〜2.5ppm以上の水素水を注入しました。(充填時)

私が水素水を知ったきっかけは、友人との会話の中でした。段々年が重なるのだいたいのは健康のことです。私も少し血圧が高くなり通風で足先に痛みを感じる様になっていました。友人は、私の話を聞き、それならこれを飲んでみたらどう?と水素水を出しました。私はこういうものは、あまり信用しない方ですが、せっかく友人が勧めてくれたものですから、半信半疑で飲んでみました。

飲んでみると、これが私にはとっても良く、大満足でした。それから水素水についての研究をはじめました。

研究してわかったのは、人間の体は、年を重ねることによって、サビ(酸化)ていくものだと思えました。

そのサビ(酸化)とは、「老化や生活習慣病の原因」とされる活性酸素



代表取締役
ひろおか まさよし
廣岡 正儀 氏 (嘉飯支部)

からの害のことです。糖尿病や高血圧、あるいはメタボリックシンドロームや肌のシミ、シワもそうです。また、内臓の老化もそうです。この活性酸素には、善玉と悪玉があり、都合のいいことに水素水はこの悪玉にだけ反応し、洗い流してくれます。つまり水素水は、身体の悪い所だけに効果があるということです。私は、水素水を作ることを決めました。

その頃ちょうどRO水をガロンに充填する水の工場を建てる計画がありました。

九〇〇メートル級の山々が連なる嘉麻市の古処山・馬見山・屏山(嘉穂のアルプス)と、麓ではフルーツの産地のリンゴ村があり、水の名称としても知られています。言い伝えによりますと、嘉麻市に一夜城・益富城を築いた秀吉もこの水を飲んで



営業課長
ひろおか まさよし
廣岡 太 氏 (嘉飯支部)

だと言われております。その地域に水の充填工場が誕生しました。

その工場の中に水素水製造の計画も入れ、三年後の製造開始を目指しました。

そして、昨年の八月に水素水の工場ができました。パッケージのデザインを初め商品のネーミングや形や販売価格まで自社で決定することが楽しみでした。

社員一同で協議をし、意見を交換しあい、それは今までにない大変な盛り上がりでした。

初めて出来た商品は感無量でした。そして、商品を手になんかだけでなく世界中の皆様が

益々健康でいられますよう祈りました。

更に社員一同で喜びを分かち合い、これからの希望を語りあいました。



株式会社 アクアクイーン

〒820-0016 福岡県飯塚市菰田東1-8-15
TEL 0948-24-7977
FAX 0948-24-7978

<http://aquaqueen.co.jp>

九州 嘉麻おいしい天然水に、
酸化還元電位 -700mV 以上、
溶存水素量 2.0PPM 以上の
水素を注入しました。

a-class アクラス

2015年度 第5回理事会報告

■ 日時：2015年9月24日(木) 14:30～17:30
■ 出席：49名(出席率84.5%)

■ 場所：福岡県中小企業振興センター 202会議室
■ 議長：貞池 龍彦(副代表理事)

審議事項

- 1 会費未納者の退会について
筑紫支部1名、玄海支部1名が会費未納により退会として承認された。
- 2 除籍者の再入会について
法人化前の規約において除籍となった会員の再入会の可否について改めて提起があり、一定の条件を満たすことによって再入会を認めるという提案に対し、承認された。

協議事項

- 1 2015年度運動推進の課題
 - 仲間づくりの進捗状況
会員数の動きについて目標達成状況及び全国の会員数の動きも含めて報告された。また、8月19日に開催された仲間づくり推進本部会議の報告があり、その中で行事用のゲストアンケートの提案があり、活用いただきたい旨述べられた。
 - 福岡県中小企業振興条例骨子案
8月11日に開催された福岡県中小企業対策審議会において9月県議会において制定される見通しの「福

岡県中小企業振興条例骨子案」が示され意見を求められたことが報告された。

- 2 前半期総括について
次月理事会で行われる半期総括に向けて、全理事に対して総括の提出依頼があった。
- 3 2015年度中間理事研修会の開催について
渡木役員研修室長より、中間研修会の実施の提案があり、確認された。

報告事項

- 1 対外的対応事項
5件の後援名義の使用が承認された。
- 2 会員企業のうごき(『経営革新計画承認企業』(2015年7月) 2社)
(株)リョーワ 田中 裕弓(ひびき支部所属)
(有)成南自動車 犬束 啓介(福友支部所属)
- 3 関東・東北豪雨被害義援金に協力するよう呼びかけがあった。

※ 理事会報告全文は、e.doyuの文書管理(理事会報告-2015年度)にアップしています。会員の方は全て閲覧できます。

e.doyuがリニューアルしました!

日ごろより同友会組織活動支援システム「e.doyu(イー・ドュー)」をご活用いただきありがとうございます。本システムを提供する中同協では、e.doyuをリニューアルし、新e.doyuとして本年9月28日(月)10:00より利用を開始しました。

◆ 主な特徴 ◆

画面が生まれ変わります

旧e.doyuとカラーイメージはそのままに、文字サイズを大きくして見やすくしました。

アクセス速度が速くなりました

稼動しているサーバをクラウド化したことで、アクセス速度が速くなりました。(※ ご利用の環境により若干遅くなる場合がございます。)

同友会の行事予定は「行事一覧」で見やすく

同友会の行事を「行事一覧」で一覧表示。公開行事にも出欠登録が簡単にできるようになりました。

アンケートは直感的に回答

旧e.doyuでは1問1問ページを送って回答していましたが、1画面で全て回答することができます。下書きして途中から回答することも簡単になりました。

* ID・パスワードについて

e.doyuのID、パスワードは旧システムと同様のものをお使いください。最初にご利用の際、IDを入力する必要があります。ご注意ください。



民間企業にも義務付けられるマイナンバー

マイナンバー(社会保障・税番号制度)とは、複数の機関に存在する個人の情報を同一人の情報であるということの確認を行うための社会基盤です。

- 社会保障・税番号制度では複数の機関に存在している個人の情報が同一人の情報であると確認できるように、下記のような仕組みから構築されます。

(1) 付番

新たに住民票を有する一人ひとりに、個人を識別できる「民-民-官」の関係で利用可能な、見える「番号」を最新の基本四情報(氏名、住所、性別、生年月日)と関連づけて付番する仕組み。

(2) 情報連携

複数の機関間において、それぞれの機関ごとに個人番号(マイナンバー)やそれ以外の番号を付して管理している同一人の情報を紐付けし、相互に活用する仕組み。

(3) 本人確認

個人が個人番号(マイナンバー)を利用する際、利用者が個人番号(マイナンバー)の持ち主であることを証明するための本人確認の仕組み。

- 国は社会保障・税番号制度(マイナンバー)を導入することにより、将来、よりきめ細やかな社会保障給付の実現、所得把握の制度の向上等の実現、災害時における活用、自己の情報や必要なお知らせ等の情報を自宅のパソコンから入手可能、事務・手続の簡素化、負担軽減、医療・介護等のサービスの質の向上などが実現できるとしています。

● 民間企業におけるマイナンバー対応

(1) 法人番号

法人等には13桁の法人番号が割り当てられることになっています。2016年1月から順次、社会保障・税分野の申告書及び法定調書などを提出する際に、これらの書類に法人番号の記載が求められます。

法人番号の利用開始時期について幾つか例を上げると、法人税と消費税は2016年1月以降に開始する事業年度分の申告書から、支払調書や源泉徴収票等の法定調書・申請書等は2016年1月から法人番号の記載が必要になります。

帳票の印刷等を情報システムで処理している民間企業は、情報システムの改修(例えば、法人番号の入力機能等)が必要になります。個人番号対応に伴う人事給与システム、社会保険関連システム、支払調書作成システムの改修の際には、個人番号だけでなく法人番号の記載も求められることを認識して対応する必要があります。

法人番号は利用範囲が規定されていないため、行政や民間企業の間で幅広い活用が期待されています。

<< 次号に続く >>

マイナンバー対応状況

(福岡同友会 第93回景況調査報告より)

● マイナンバー制度の理解

	件数	割合
内容まで知っている	127	42.6%
言葉だけ知っている	146	49.0%
わからない	19	6.4%
不明	6	2.0%
	298	100.0%

● マイナンバー対応状況

	件数	割合
対応完了	2	0.7%
対応中	48	16.1%
予定はあるが何もしていない	114	38.3%
予定なし	83	27.9%
わからない	42	14.1%
不明	9	3.0%
	298	100.0%